

Library information 図書館だより

- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎072-957-5553
- 丹比図書館 檜山 251-1 ☎072-937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
- 古市図書館 ☎072-958-0050 休(休)金(出)日 10:00 ~ 17:30
- ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 休(休)出 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

おはなし会 (10月)		今月の特集テーマ	
中央図書館	1日(出) 15日(出) 29日(出)	11:00 ~	一般 松岡享子さんの本
	9日(日) 23日(日)	13:30 ~	児童 あきいっばい
陵南の森図書館	2日(日) 9日(日) 22日(出)	11:00 ~	一般 暮らしの中に和を感じる
	15日(出)	15:00 ~	
	16日(日) (小さい子向き)	11:00 ~	児童 ハロウィン特集
	16日(日) (少し長いお話を聞ける子向き)	11:30 ~	
東部図書館	12日(休)	10:45 ~	日本のおまつり
古市図書館	15日(出)	11:00 ~	映画を読もう!
羽曳が丘図書館	8日(出) 22日(出)	15:00 ~	気になる手にとる本のPOP
丹比図書館	22日(出)	10:30 ~	ふしぎな世界へ行こうよ!

世界遺産課・中央図書館共催 DOKI☆土器 古墳のヒミツ大公開!

日時: 10月22日(出)
 ①子どもも聞ける世界遺産入門講座 14:00 ~ 14:45 定員 50人
 ②オリジナル遺跡ストラップをつくろう 15:00 ~ 15:30 定員 15組
 場所: LIC はびきの2階大会議室
 申込: 中央図書館に来館または電話 (072-950-5501) にて受付

10月27日~11月29日は「読書月間」各館でイベントを実施します。

リサイクル市 (チケット制)

日時: 11月6日(日) 11:00 ~ 16:00
 場所: LIC はびきの1階アトリウム
 9月27日(火)~当日までに、中央図書館にて本を5冊以上借りると、チケット1枚をお渡しします。
 問い合わせ先: 中央図書館 (072-950-5501)

◇はびきの電子図書館 10月1日スタート

10月1日(出)正午から、はびきの電子図書館の運用を開始します。図書館に来館しなくても資料を利用できる、電子図書館ならではのサービスを提供していきます。
 ※ご利用には、羽曳野市立図書館の緑色の図書利用カードが必要となります。電子図書館へは、羽曳野市立図書館ホームページのリンクからお入りください。
 電子図書の貸出・予約冊数 3冊まで (紙の図書とは別です)
 貸出期間 14日間 (継続貸出は1回のみ)
 ※1点ごとの電子図書には利用できる上限回数 (または期間) があり、この制限を超えると電子図書館から削除されます。利用される方はあらかじめご了承ください。

休館日変更のお知らせ

10月1日(出)から、図書館の休館日・開館時間が以下のように変更されます。
 中央図書館 毎週月 休館 (祝日含む)
 (出)・(日)・祝日の開館時間 10:00 ~ 18:00
 陵南の森・丹比・羽曳が丘・東部図書館 毎週金 休館 (祝日含む)
 ブックステーションはびきのコロセラム (火)・(木)・(土)開館
 なお、原則として毎月最終水曜日 (祝日の場合はその翌日) は館内整理のため全館休館となります。

臨時休館のお知らせ

- ・古市図書館 10月8日(出)・9日(日)
- ※この間ブックポストは使用できません。
- ・ブックステーションはびきのコロセラム 10月11日(火)

10月26日(水)市内の図書館は全て休館です。

サラバボール

今年、海洋冒険家の堀江謙一さん (83歳) が、世界最高齢での単独無寄港太平洋横断という偉業を成し遂げた。堀江さんは60年前の23歳の時にも単独で太平洋を横断し、世界最年少記録を打ち立てた。GPSをはじめとする技術革新が今回の偉業を支えた面もあるだろうが、ひとたび海に出れば、一人きりで帆を操り、風だけを頼りに前進するヨットのハードさは、今も昔も変わっていない。風による荒波にもあそべられることもたびたびあったらしい。堀江さんを海に駆り立てるものは「チャレンジすることの楽しさ」だそうだ。

還暦を前にして、休日、妻と一緒に神社仏閣を回り御朱印を集めることぐらいしか趣味の無い我が身を振り返って、あの、健康的で生き生きとした堀江さんの姿には、憧れさえ感じてしまう。

今年度の「高齢社会白書」(内閣府)では、我が国の高齢化率(総人口に占める65歳以上の人の割合)は、28.9%。生きがいを感じている高齢者の割合は72.3%となっている。仕事をしている人や、ご近所や友人との付き合いや外出機会の多い人ほど、生きがいを感じていると答えた人の割合が高くなっている。また、情報機器の利用について、生きがいを十分に感じている高齢者の割合は、「電子メールで家族・友人と連絡をとる」「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」「SNS (LINE、Instagram など) を利用する」と答えた人だと30%を超えているのに対して、情報機器を利用しない人では10.3%にとどまるという調査結果を報告している。

何らかの方法で、人とのつながりを持つ人の方が、持たない人よりも生きがいを感じているといえるわけだが、一方で、65歳以上の一人暮らしの人は男女ともに増加傾向にあり、昭和55

年には65歳以上の男女それぞれの人口に占める割合は男性4.3%、女性11.2%であったが、令和2年には男性15.0%、女性22.1%となっている。また、60歳以上の一人暮らしの人の5割以上が、孤独死を身近な問題と感じている。

もしも、あなたが、寂しさや不安を感じているのなら、身近なところから、チャレンジを始めてみませんか。市内には、たくさんボランティアグループが活動しており、また、各地域では、校区福祉委員会などが中心となって、高齢者が集まるサロン(お茶会など)や健康体操、また、子育て世代との交流を図る子育てサロンや、中には、パソコン、スマホ教室なども行われています。堀江さんにとっての大海原のような、あなたにとっての生き生きと輝ける場が見つかるかもしれません。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会